平成３０年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all.　№77

＊エイリョウ・アラカルト　「ダリア」



職員玄関が美しい花で彩られています。見事なダリアです。ダリアの花言葉（色によって違うそうです）には、「栄華、華麗、感謝、優美」など様々な意味があるようですが、実に美しく心が和みます。本校職員が毎年、愛情を込めて育てられたものを学校にいけてくれます。



花と言えば、生徒も毎年春に地域の方々と一緒に環状線沿いに植え込みをしています。また、生活委員や美化委員の皆さんは、学校前のプランターに水やりをしながら色とりどりの花を育てています。

教育環境や教育活動の中には、心を豊かにする光景や取組が沢山隠れているものです。

All for one, and one for all.　№78

H30. 9. 4　「前期期末考査」

４日から前期期末考査が始まりました。１・２年次生にとっては今後の進路決定や科目選択をする上での指標に、また、３年次生にとっては受験出願の際の仮評定に反映される大切な試験となります。

考査中は放課後の時間を活用し教室や自習室で勉強をしている生徒や職員室前の質問デスクで解き方の確認をする生徒で賑わいます。

個々の進路目標は異なりますが、その達成に向けて努力する姿は美しいものです。願い事が大きいほど苦労も大きくなるだけに、自分には常に厳しくあって欲しいと思います。



個々の質問に丁寧に答える教職員

All for one, and one for all.　№79

＊エイリョウ・アラカルト　「女子テニス、秋季は個人戦を制覇！」



２年１組の北原 若菜さんが、夏のダブルスに続いて、今大会はシングルスで地区優勝を勝ち取りました。テニスには小学校時代から取り組み、軟式・硬式両方の経験を有するアスリート。錦織圭選手や大坂なおみ選手が大ブレイクしているテニス界、今後は永嶺高校テニス部からも目が離せません。

全道大会は苫小牧での開催、本校からも全道の切符を勝ち取った選手団が次のステージを目指します。

All for one, and one for all.　№80

＊エイリョウ・アラカルト　「吹奏楽局、全道で金賞受賞！」

吹奏楽局が、札幌キタラで行われた「北海道吹奏学コンクール」で見事「金賞」に輝き

ました。上川支部を１位で通過し全国代表へもあと一歩というところでしたが、練習の成果を存分に発揮しての演奏に「最高賞」という高い評価をいただきました。

局長の３年２組 端場 麻衣さんと演奏部長の３年５組 木津 菜花さんからは、「今年度は早くから『全国大会出場』を目標に掲げ、決して妥協することなく練習に取り組んできました。」と、様々な苦難を乗り越えてきたこれまでの経過を伺うことができました。お二人の懸命な思いや行動が全局員に浸透し、今回の素晴らしい演奏に繋がったのだと思います。



また、話の中で「自分たちの演奏が少しでも多くの人たちの心を幸せに出来たら嬉しいです。」との言葉には大きな感銘を受けました。話を伺う時間はわずかでしたが、吹奏楽局をあらゆる面で牽引しているお二人だけあって「オーラがハンパなかった！」です。

とても爽やかで、かつ頼もしいお二人の今後の益々の活躍に心からエールを送りたいと思います。

All for one, and one for all.　№81

H30. 9.13　「高等学校英語力向上事業」



グローバル化が急速に進展する昨今、未来を担う子どもたちには、いかなる職業につくとしても、英語によるコミュニケーション能力が必要になると言われています。

北海道教育委員会では、高校を卒業する全ての生徒が少なくとも英語で日常的なコミュニケーションがとれる力を身につけることを目標に様々な取組を進めています。

「高等学校英語力向上事業」もその一環で、本校はその指定校の一つに選ばれ英語力の向上に率先して関わることになります。



今日は上川管内の英語教諭が本校に集い、この事業を円滑に進めるためのプロジェクト会議を行われました。特に英語科の先生方にはあらゆる場面でご尽力いただくことになりますが、学校としても全面的に応援していくつもりです。

All for one, and one for all.　№82

H30. 9.14　「公開授業：アクティブラーニング」



本校ではアクティブ･ラーニング推進委員を中心に、様々な科目で公開授業を実施しています。今日は１年次倫理の公開授業が行われ、教科に関係なく多くの先生方が参観されていました。

授業は「春秋戦国時代と諸子百家」、当時の時代背景や社会情勢をプリントを併用しながら説明し、その上で様々な思想が当時の人々に浸透していく過程や要因を生徒とともに探ります。授業の目標は生徒に主体的に考えさせる場面を多く作り、想像を働かせながら当時の様子を身近に感じ、多くの思想が生まれた背景を学ぶことです。

説明だけでは捉えることのできない遠い過去の社会を、生徒は思考することで徐々に脳裏に思い描いていきます。すると諸子百家の台頭した理由や各々の思想内容に自ずと説得力が生じます。生徒の関心が高くなればなるほど、理解力が増幅する所以です。

新たな時代に適応出来る資質能力を育むための授業改善に向け、教師もまた不断の努力を惜しまない姿勢が求められます。とても参考になる素晴らしい授業でした。

All for one, and one for all.　№83

H30. 9.14　「立会演説会」

後期からの新生徒会役員を決める「立会演説会」が生徒会主催で開催されました。この３年間、生徒会執行部は高校の統合により大きく変わったクラス数や生徒数に応じた生徒会行事の考案に大変な苦労をされたことと思います。本当によく頑張ってくれました！

また、その陰には執行部を支え盛り上げてくれた在校生の協力も見逃せません。生徒が一丸となって永嶺高校の礎づくりに深く関与してくれたことを本当に嬉しく思います。



３年目となる今年度は永嶺高校の完成年度にあたります。新たな執行部はその締めくくりを担う重要な役割と責任を果たす立場になりますが、先輩方の足跡を参考に、さらなる飛躍を心から期待しています。

新生徒会長の２年６組 石井 はるかさんを中心とした新たな執行部の面々の今後の活躍にエールを贈ります。

All for one, and one for all.　№84

H30. 9.15～17　「バスケ部、選手権２連覇！」

北海道高等学校バスケットボール選手権大会旭川地区予選で本校バスケ部が見事２連覇を達成しました。見えないプレッシャーをはねのけ、実力校に圧勝した結果に心から拍手を贈ります。バスケット部の面々は練習熱心なのはもちろん、日常の礼儀作法もしっかりしています。これは永嶺高校のどの部にでも言えることですが、全道や全国を目指すチームだけあって精神面でも強いものを兼ね備えています。

キャプテンでもあり、今大会の最終優秀選手賞に輝いた３年次生 山田 称士 君が校長室で話を聞かせてくれました。中学時代もバスケ部に所属し、本校で学業と両立して将来は教師を目指すために遠軽から入学したとのことでした。自分のプレーだけでなくチームのまとめ役としての苦労は多いことと思いますが、それだけに芯のしっかりした好青年でした。



今後も自分の信念を貫き、残された高校生活や進学後も大いに活躍してくれることを確信しました

All for one, and one for all.　№85

H30. 9.16～17　「弓道部、女子団体優勝！」

北海道高等学校弓道選抜大会旭川支部予選で女子弓道部が団体優勝を勝ち取りました。



今年度、本大会で全国に駒を進めた男子弓道部を横目に、「次は自分たちが！」とひたすら練習に励んだ成果と言えます。

３年次生が高体連で引退し、後を引き継いだ新生チームは結果に一喜一憂することなく、日頃の練習で身につけてきたことを明るく前向きな気持ちで発揮し続けました。チーム内で互いに支え合いながら一矢一矢に集中できたことが優勝に繋がったのでしょう。

全道大会は１０月５日から芦別で開催されます。何事にも怯むことなく、自分たちのペースで明るく前向きに歩み続けてくれることを願っています。

All for one, and one for all.　№86

＊エイリョウ・アラカルト　「女子テニス、、またまた快挙です！」

先頃行われた「2018　旭川オープン秋季シングルス」で、２年次生 北原 若奈さんがまたまた優勝に輝きました。地区大会を総嘗めにしている感がありますが、次のステップである全道でも是非入賞を果たしてください！



この大会は地区で終わりと聞きましたが、今後も新たな冠大会が続きます。男女ともにめきめきと力をつけている永嶺高校テニス部だけに今後が益々楽しみです。

また、永嶺生は部活動で学んだことを自己の成長に必ず繋げています。勉学だけでなく社会人としても有為な人材になってくれることを確信しています。頑張れ～！

All for one, and one for all.　№87

H30. 9.21　「見学旅行保護者説明会」

高校生活最大の行事となる「見学旅行」を１ヶ月後に控え、保護者説明会を開催しました。お忙しい時間帯にもかかわらず、１６０名程の保護者の皆様にご参集いただきました。この場をお借りし改めてお礼申し上げます。



本校では「平和教育」をコンセプトとしており、今年度も広島平和記念公園の訪問や、被爆者の方のご講演をお聞きしてきます。平和は何もせずに維持されるものではありません。戦争という悲劇を肌で感じ、自ら考え自ら行動を起こすことで、今後も世界の平和に関与していかなければなりません。また、京都・奈良では日本の歴史に触れ、その時代における先達の教えや考え、伝統の優れた知識や技術などを学んできます。

集団行動を通して多くのことを学び、生徒同士の絆をさらに深め、楽しい思い出となるよう、安全を第一に今後も詳細について検討を進めてまいります。

All for one, and one for all.　№88

H30. 9.25～27　「Hokkaido Study Abroad Proguram」



北海道教育委員会の主催事業として実施された本取組では、大学院生とのコミュニケーション機会をいただきました。来校されたのは、北海道大学大学院に中国から留学され研究に日々携われているショウ キンキンさんです。

ショウさんは３年前に日本に留学し､現在はドクターを目指して勉学に励まれています。明るく日本語も流暢に話されるとてもチャーミングな大学院生です。本校には３日間の滞在でしたが、授業や部活動を介しての文化交流を通して、生徒もすっかり ショウさんに魅了され、留学のことや中国のことなどを熱心に聞いていました。



また、全校生徒を前にしての講演では､「自分の目標を実現するまで、決して妥協することなく努力を惜しまないで欲しい」､「自分のやりたいことをとことん貫き通す意志をもってください」と、在校生の心に響く激励の言葉もいただきました。

こうした機会を増やしながら、生徒のグローバル感覚をより一層育んでいきたいと考えます。

All for one, and one for all.　№89

＊エイリョウ・アラカルト　「校内標語コンクール」



生徒会が主催する「校内標語コンクール」の表彰が行われ、４部門において最優秀賞、優秀賞受賞者が発表され、生徒会執行部から賞状が授与されました。

〈防犯部門〉

最優秀賞　「夜の道　己の背中　常に気を」　（３年次　Ｋ・Ｙ 君）

優秀賞　「ばれなきゃいい！　軽い気持ちで　重い罪」（１年次　Ｙ・Ｆ 君）

〈交通安全部門〉

最優秀賞　「スマホ見て　パッとなくなる　その命」　（２年次　Ｙ・Ｎ 君）

優秀賞　「見えてると　信じ込むのが　事故の元」　（３年次　Ｓ・Ｉ 君）

〈いじめ根絶部門〉

最優秀賞　「見てるより　人を救える　人であれ」　（３年次　Ｔ・Ｎ 君）

優秀賞　「遊びから　加害者になる　境界線」　（３年次　Ｈ・Ｔ 君）

〈ネットトラブル根絶部門〉

最優秀賞　「ＳＮＳ　いつのまにやら　ＳＯＳ」　（１年次　Ｎ・Ｋ さん）

優秀賞　「見られてる　写真に収まる　その情報」　（３年次　Ｋ・Ｙ 君）

生徒会がこの標語コンクール等を通して、生徒一人一人が「安心で安全な学校づくり」に積極的に関与してくれることを願っています。

受賞作品は校舎内に掲示され、全校生徒と一緒に、引き続き事故防止に努めていきます。

All for one, and one for all.　№90

H30. 9.28　「生徒会役員退任式・認証式」

前期終了をもって旧生徒会と新生徒会が引継のバトンを交わしました。これまでの生徒会は永嶺高校への移行期でもあったことから、毎年のように生徒、クラス数が変わり、生徒会行事を運営する上で本当に苦労が多かったことと思います。そんな難しい環境にありながらも、執行部が一丸となり、年次の壁を取り除き、全校生徒の意向を汲みながら見事にやり遂げてくれました。心から敬意を表します。



新執行部の皆さんには、先輩方の足跡をたどるだけでなく、これまでの業績をさらに発展させ、旭川永嶺の進化に努めてくるものと期待しています。



学校の主役は生徒一人一人です。主体性を発揮し、仲間と協力しながら、より明るく活気に満ちた学校を創ってくれることを心から望みます。

All for one, and one for all.　№91

H30. 9.29　「学校説明会」

来年度の受検生（中学３年生）、並びに保護者の皆様や教職員の方々を対象に「学校説明会」を開催しました。本校では会場の規模から、９月と１０月の２回に分けて実施させていただいています。



１回目となるこの日は、市内はもちろん、近隣の市町村からも沢山の中学生の皆さんに足を運んでいただきました。

今年度は「普通科単位制」の完成年度となりますが、その間、新たな学校の基盤づくりに、教職員・在校生が一丸となって頑張ってきました。

これからの新しい社会に適応するために必要な教育内容を備えた学校として、学力向上はもちろん、部活動、ボランティア、国際交流、異校種間連携、教育相談、キャリア教育等々、中学生の皆さんのニーズに応えられる学校を日々追求しています。

All for one, and one for all.　№92

H30. 9.29　「高校生と語る集い」

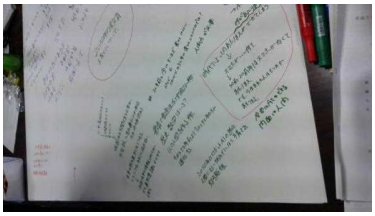
高校生と保護者、教職員が今日的課題や将来に向けての発展的事柄を自由に話し合い、共に将来を考えることを目的とした「旭川ワールドカフェ」が旭川商業高校ＰＴＡの皆様を中心に、大雪クリスタルホールを会場に開催されました。

本校からも４名の生徒、５名の保護者、引率教諭の都合１０名が参加し、大変有意義な時間を過ごさせていただいたようです。

グループに分かれての意見交換、記録、集約、グループごとの発表など、生徒と保護者が一緒になって役割分担し、話し合いの内容を深めていきます。そこには、高校生の視点、

大人の視点、親としての視点など、様々な見方や考え方があり、互いに視野を拡げ、様々な価値観を尊重し合いながら将来を考えていきます。





こうした機会を通じて、子どもたちはまた一つ大きく成長していきます。一緒に参加していただいた保護者の皆様、お忙しい中、本当に有り難うございました。